

3組戦隊 黄レンジャイ！！



2年3組 学級通信
No.3 H23. 5. 19

家庭訪問お世話になりました！

先日の家庭訪問では大変お世話になりました。お仕事など、非常にお忙しい中、お時間を割いていただきました。また、貴重なお話を伺うことができ、これからの生徒指導にとっても参考になりました。ありがとうございました。

今回の家庭訪問で、ご家庭の皆様が生徒達のことをどれだけ大切に思い、育ててきたのかをつくづく感じました。また、そういった生徒達を一年間お預かりして、成長させるということに改めて背筋の伸びる思いです。

ここまで大きく成長させるまでに、本当にいろいろな思いがあるんですね。自分の子と重ね合わせ、「ああ、そういう風になっていくんだろうな…。」なんてことを考えていました。(生徒のみなさん、お家の人は、本当に真剣にみんなのことを考えてくれているよ！！)

今回のお話を参考に、一人ひとりがもっと充実した一年を送れるように手を尽くしていきたいと思います。また何かとご迷惑をおかけしますが、ご協力のほどよろしく申し上げます。



3日前くらいの大志。
4500gになりました！

一方、生徒達は・・・

やはり、家庭訪問で何をお話したかは、結構気になるようですね。(自分を思い出してもそうだったかなあ・・・？ 生徒の皆さん、主には、学校生活のこと、頑張っていること、勉強面のことなどですよ。) そんなことをこの期間中は聞かれることがあります。

子どもにとって、親にどう思われているかというのは大きな問題なのだと思います。よい子でありたい、褒められたい、認められたいというのは、表には出さなくても、いつも心のどこかにあるのかもしれないね。だから、それができなかったときに、どこかで自分を責めたりする気持ちがあるのかもしれない。そして、それを指摘されると、なおさら反発してしまうことがあるのかもしれない。自分のダメなところは、自分自身が一番よく分かっているからなのでしょうね。まだまだ忠告をありがたいと取るところまでは、出来ないのでしょうか。

周囲や自分の望む姿と現実の自分自身とのギャップ。それがだんだんと目に見えてきて、さらに、日々の忙しさと疲れのなかでイライラがたまってくる。そういったことが、反抗期という形で噴出してしまふのかもしれない。(自分はそうだったかな。)

指摘されたことを認めたり、自分自身を弱い部分も含めて認めたりするには、心を強くするしかありません。そして、人の話を受け入れること、自分を認めることも含め、日々努力し、いろいろな面で自分自身を成長させるのが大切なのだと思います。(良い経験、辛い経験、様々な経験が必要です。例えば、挫折は辛い経験ですが、前向きに捉えられればとても良い経験になります。) それが出来たとき、また一つ大人になっていくのでしょうか。今、生徒達は自分自身と日々勝負しているのだと思います。

ある生徒の生活ノートにこんなことが書いてありました。私が家庭訪問で出かけているとき、みんなが黙々と一生懸命に自習をしていた。誰にも言われないのに、みんなすごいと思った。という内容でした。私は、それを聞いてとてもうれしく思いました。また、「テスト前の家庭学習を頑張れ！！」と言ったところ、普段よりもページ数を増やして頑張ってくれる生徒が増えました。それもとてもうれしく、自分の生徒達を自慢に思いました。そして、そういったことをクラスでも伝えました。

まだまだ成長途中な生徒達です。(私自身だってそうです。) 言いたいこともたくさんありますが、そういったところをいくつか見つけて褒め、直してほしいところを1つか2つくらい理由も含めて伝え、叱る。そうすると、このくらいの時期の子供達にはよく伝わるのかな、と思います。そのためにも、生徒達が行った良いことを積極的に伝えていけたらと思っています。